

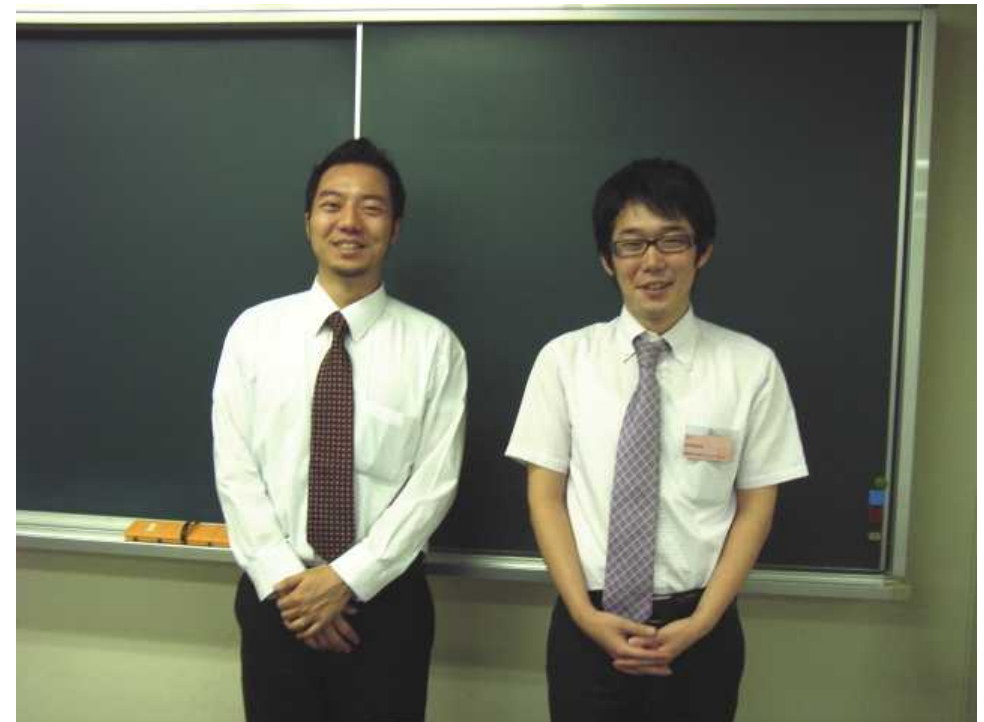


Challenging Tomorrow's Changes

# Ruby/Railsの人材育成

CTCテクノロジー株式会社  
エデュケーションサービス部  
堀 直人

- はじめに
- これまでの取り組み
- Ruby/Railsとアジャイルとの関係
- 弊社適用事例
- コースラインナップ
- お客様の声と今後の展望
- Ruby認定試験のご案内



- Ruby/Railsの人材を育成する目的
  - Ruby/Railsでアジャイル開発できる人材の育成



- 2007年1月 Ruby/Railsトレーニング開始
- 2007年10月 Ruby認定試験事業開始
- 2008年6月 Ruby会議2008で認定試験実施
- 2009年3月 「Ruby試験ガイドブック」出版
- 2009年9月 早稲田大学様に講座をご提供

## Ruby認定試験の目的

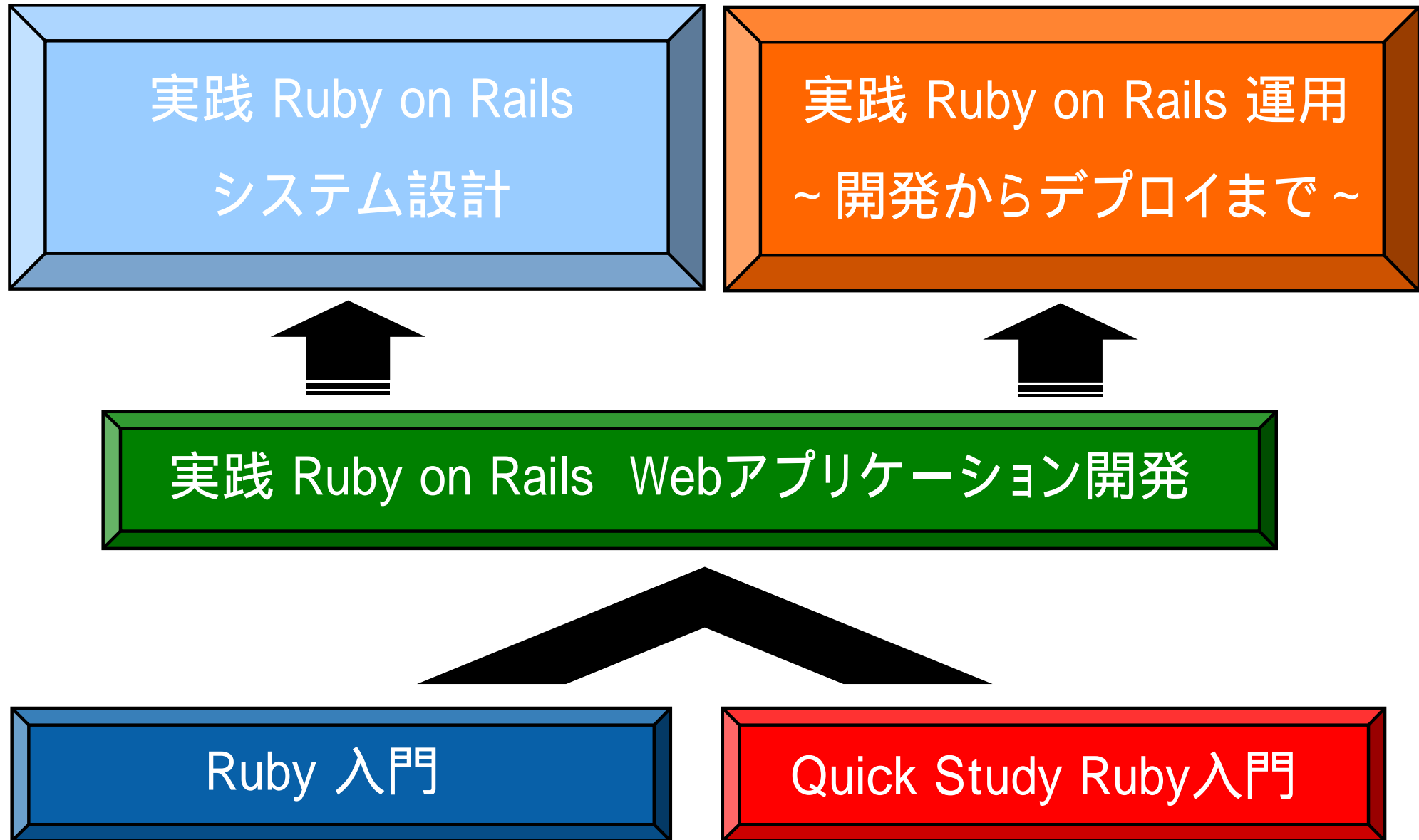
Rubyの正しい知識を身につけたエンジニアを育成し、Rubyによるシステム開発の普及を目指す



- できるだけ早い段階から継続的に納品
  - Rubyの簡潔さ
  - アジャイル開発に向いているRails
- 意欲ある技術者が必要とする環境と支援を与える
  - 豊富な機能を持つRails
  - 言語としての楽しさを持つRuby
- 持続的な開発を促進する
  - テスト駆動開発(TDD)
  - リファクタリング

- ITIL準拠運用管理ツール「eTreasure」
  - 要件からアジャイル開発が必要と判断
  - Think ITに記事を掲載

<http://www.thinkit.co.jp/article/156/2/>
- アジャイル開発で良かった点
  - 開発の終盤に仕様変更を受け入れられた
  - 従来の手法では不可能だった局面でも乗り越えることができた



## Ruby入門

- コース目的
  - プログラムを書くために必要な知識を習得
  - Rubyのオブジェクト指向について説明
  - Ruby認定試験に対応
- お客様の声
  - 久々にプログラミング言語が面白いと思った
  - オブジェクト指向を改めて理解することができた



## 実践 Ruby on Rails Webアプリケーション開発

- コース目的
  - Webアプリの作成を通してRailsの基礎技術を習得
  - MVC、O/Rマッパー、コード生成、プラグイン、Ajax、テストなどの基礎技術を習得
- お客様の声
  - Javaで3年間かけて学習したことが短期間の研修に詰まっていた

## 実践 Ruby on Rails 運用 ~ 開発からデプロイまで ~

- コース目的
  - 開発環境や運用環境の構築方法を習得
  - 運用環境へのデプロイ、リリース方法を習得
- お客様の声
  - 研修で教えていただいたツールを活用したい

## 実践 Ruby on Rails システム設計

- コース目的

- 設計、実装、テストのプロセスを体系的に習得
- TDD、リファクタリングを通してアプリケーションの設計を体験

- お客様の声

- TDDやリファクタリングを使ってアジャイル開発を適用していきたい

Railsの上位コースがあると良い

上位コースとしてどんなコースが必要だろうか



お客様



インストラクター

独自フレームワーク開発のコースがあると面白い



開発者

独自フレームワーク開発なら  
メタプログラミングが必要



インストラクター

プログラムの設計が難しそう  
ですね…



お客様

Rubyのメタプログラミング機  
能の教え方を考えていかな  
ければならない




インストラクター

- お申し込み
  - CTCテクノロジー 教育サービス

<http://www.school.ctc-g.co.jp/>



リテイクキャンペーン実施中



今なら、不合格だった方にもう一度のチャンス！  
**Ruby技術者認定試験**  
**無料リテイク(再受験)キャンペーン実施中!**

← ここから、お申し込みいただけます！

ご清聴

ありがとうございました